



5万分の1地質図幅の新刊

# 亀山

KAMEYAMA

## 5万分の1地質図幅 地域地質研究報告

著者 宮村 学・吉田 史郎・山田 直利  
佐藤 岱生・寒川 旭

発行 工業技術院 地質調査所

取扱先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401

- 「亀山」図幅地域は 鈴鹿山地南部に位置し 同山地中央部には花崗岩類が分布して峻々たる峻険な山地を呈し 西側には近江盆地 東側には伊勢平野が広がり 往時より近畿と中部を結ぶ要所の地である。
- 亀山地域の地質は 鈴鹿山地を構成する古生層(二疊系?) 白亜紀の領家変成岩類 白亜紀後期~古第三紀にかけての深成岩類と同山地山麓に分布する瀬戸内中新統及び鮮新-更新統からなり 鈴鹿山地東麓には水沢扇状地で代表される扇状地堆積物が著しく発達している。
- 古生層(二疊系?)は 野州川流域に分布する野州川層群

を標準とし 岩相から3つに区分し 本地域の古生層の対比を行っている。

- 深成岩類は 領家・鈴鹿(鮎河)・油日岳の各花崗岩類に区分し 更に 領家花崗岩類は4つのグループに細分して 深成岩類相互の貫入関係を明らかにし 周辺地域のものとの対比を行っている。  
また K-Ar 法による領家・鈴鹿花崗岩類の年代は 67~69Ma であり 湖東流紋岩類の形成時期との関係についてもふれている。
- 瀬戸内中新統は 鈴鹿・鮎河の2層群と千種・佛峠の2層群に区分し 2層群については 更に岩相によりそれぞれ3累層に分けている。また 浮遊性有孔虫化石により他地域のものを含めて対比を行っている。なお 鮎河層群は 貝類 甲殻類 魚類などの動物化石と植物化石を多産することで従来からよく知られている。
- 鮮新-更新統の奄芸・古琵琶湖層群は 岩相によりそれぞれ4層と2~4層に細分され 特に 奄芸層群桜村累層(最上部)の岩相変化から湯の山礫層について従来と異った見解が示されている。
- 新しい構造として 瀬戸内中新統を變形させる断層 鮮新-更新統を變形させる断層及び褶曲・拗曲などの諸性質にふれ 特に 段丘面・段丘堆積物を変位・變形させるものは本地質図幅中に赤線で示し他のものと区別されている。
- 「亀山」図幅は「彦根東部」図幅と併用して見られることをお勧めする。

地質ニュース		第329号	1月号
昭和57年1月1日		定価 ¥540	〒実費
編集	工業技術院 地質調査所	発行	
発行人	林 久	株式会社 実業公報社	
発行所	東京都千代田区九段 4の2の12	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
印刷	振替口座 東京 32466	大蔵省印刷局 政府刊行物仕入部	
総発売元	東京都港区赤坂葵町 2	Tel. (03) 582-4866	